登録番	:号	プロトコール名								
C34-18	82	肺癌(鳥	扁平上皮)CD	DP+GEM+Necitur	M+Necitumumab併用療法					
診療和	斗	呼吸器内科	1クールの日装		日数	数 21日				
審査日	=	2020年4月27日	所要時間	320分	適応外係	吏用	■なし □あり			
適応病	名	肺癌(扁平上皮癌)			放射線頻	療法	■なし □あり			
実施部	署	□外来 ■病棟 □その化	<u></u> 拉()						
適応分	·類	□初発 ■進行・再発 □	術後補助 🗆	術前補助 口その	の他()				
番号		抗がん薬一般名		1日投与量	ł	投与法	投与日(d1、d8等)			
1		シスプラチン		75mg/m ²		div	d1			
2		ゲムシタビン		1250mg/r	n²	div d1, d8				
3		ネシツムマブ		800mg		div d1, d8				
4										
5										
6										
7										
8										
	エビデンス レベル ■治療(エビデンスレベル □1 ■2 □3 □4 □5 □6)									
肺癌診療ガイドライン2018年度版 Necitumumab plus gemcitabine and cisplatin versus gemcitabine and cisplatin alone as first-lin therapy in patients with stage IV squamous non-small-cell lung cancer (SQUIRE): an open-lab randomised, controlled phase 3 trial., Lancet Oncol. 2015 Jul;16(7):763-74.										
その他 (減量・増 規定、プ コールに する補足 明など)	以関	減量基準は添付文書に準	ぎる。							
プロトコールに関する解説										
	_									

肺癌診療ガイドライン2020年度版によると、プラチナ製剤併用療法(CDDP+GEM)に対しネシツムマブを追加することの有効性を評価した第Ⅲ相試験(SQUIRE試験)で、主要評価項目であるOSはHR 0.84(11.5カ月vs 9.9カ月, 95%CI:0.74-0.96, P=0.01)と,プラチナ製剤併用療法に対するネシツムマブの上乗せはOSを有意に延長することが示された。またPFSにおいても,HR 0.85(5.7カ月vs 5.5カ月, 95%CI:0.74-0.98, P=0.006)と,有意に延長することが示された。免疫療法が使用できない場合に一つの選択肢となる。

がん化学療法処方

	プロトコール名	1クール	の日数
	肺癌(扁平上皮)CDDP+GEM+Necitumumab併用療法		
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
d1	 生理食塩水50mL(プライミング用) 生理食塩水200mL+ネシツムマブ 800mg 調製後5時間以内に投与終了 生理食塩水50mL(フラッシュ用) 生理食塩水50mL+パロノセトロン0.75mg+デキサメタゾン9.9mg 生理食塩水100mL+ゲムシタビン 1250mg/㎡ ソルデム3A500mL+硫酸マグネシウム補正液1mEq/mL 8mL D-マンニトール20% 200mL 生理食塩水250mL+シスプラチン 75mg/㎡ ソルデム3A500mL 	点点 点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点流流流流流流流	- 60分 5分分 30分分 60分分 60分
d1	アプレピタントカプセル125mg 抗がん薬投与1時間~1時間30分前に内服	内服	-
d8	 生理食塩水50mL(プライミング用) 生理食塩水200mL+ネシツムマブ 800mg 調製後5時間以内に投与終了 生理食塩水50mL(フラッシュ用) 生理食塩水50mL+デキサメタゾン6.6mg 生理食塩水100mL+ゲムシタビン 1250mg/㎡ 生理食塩水50mL(フラッシュ用) 	点滴 流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流流	- 60分 5分 15分 30分 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	ゲムシタビンは1000mg/㎡に減量可 Day2,3にアプレピタントカプセル80mg内服 Day2-4 デキサメタゾン8mg内服		
照射併用時 照射線量	グレイ(備考欄:	_)